

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
 什器備品は、定額法によっている。
- (2) 引当金の計上基準
 退職給付引当金は、期末退職給与の要支給額に相当する額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
 消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定財産の増減額及びその残高

基本財産及び特定財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加高	当期減少高	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	960,000	160,000	0	1,120,000
畜産推進機構出資資産	1,500,000	0	0	1,500,000
小 計	2,460,000	160,000	0	2,620,000
合 計	2,460,000	160,000	0	2,620,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当)	(うち一般正味 財産からの充当)	(うち負債に 対応する額)
基本財産	0	0	0	—
小 計	0	0	0	—
特定資産				
退職給付引当資産	1,120,000	(—)	0	(1,120,000)
畜産推進機構出資資産	1,500,000	(—)	(1,500,000)	—
小 計	2,620,000	(—)	(1,500,000)	(1,120,000)
合 計	2,620,000	(—)	(1,500,000)	(1,120,000)